



モザンビークの化石・鉱物切手

P. Q.

モザンビークはアフリカ東岸 マダガスカル島の丁度対岸にあるポルトガル植民地である。人口約 700 万人 面積は日本の約 2 倍 738,000km²である。

地質は先カンブリア時代の地層が 3 分の 2 を占め その上の石炭紀から三畳紀までのカール系が各地に 白亜系と第三系が海岸地方に分布する。

切手は 1971 年に発行された 9 種 1 組のもの。

3 \$.50 Verde lite $\text{Na}(\text{Li}, \text{Al})_3\text{Al}_6(\text{BO}_3)_8\text{Si}_6\text{O}_{19}(\text{OH})_4$ 六方晶系 電気石族 Elbaite の変種名。エルバ産に対して QUENSEL and GABRIELSON(1939) が命名した。Elbaite は色調によって名称が異って用いられていた。Verdelite は緑色。

10 \$. 珪化木 産地 Carinde
アフリカ内部の陸成第三系には珪化木の産することが多い。
\$.50 Lytodiscoides conduciensis 産地 Conducia
アンモナイトでパキデスカスの仲間 白亜紀 チューロン階の示準化石。

3 \$.00 Tantalite $(\text{Fe}, \text{Mn})(\text{Ta}, \text{Nb})_2\text{O}_6$ 斜方晶系
コロンバイトと同形で $\text{Ta} > \text{Nb}$ を言い 完全固溶体を作る。ペグマタイト中に産し タンタルの原料鉱物。

\$.15 Glissopteris brancai 産地 Gotan-Tete
ゴンドワナ植物群の代表植物で中脈を持つもの。
二畳紀-三畳紀。被子植物の祖先とも考えられている。
1 \$.00 Estibiotantalite SbTaO_4 斜方晶系
Stibiotantalite のスペイン語表記。Elbaite や Lepidolite と共にペグマタイト中に産する。暗褐色-黄褐色で板状-柱状。Stibiocolumbite(SbNbO_4) と固溶体を作る。
1 \$.50 緑柱石 $\text{Be}_3\text{Al}_2(\text{SiO}_3)_6$ 六方晶系
花崗岩やペグマタイトに産し 緑色をエメラルド 青緑色透明をアクアマリンと呼び宝石となる。
2 \$. Endothiodon sp. 産地 Niassa
カール系から出土する化石で 哺乳類型爬虫類(亜綱) 獣形目から二畳紀後期に双牙類(下目)が出現し 三畳紀まで栄えたが この初期のもので頬歯はあったがまだ牙はなかった。草食。
4 \$.00 ジルコン ZrSiO_4 正方晶系
風信子鉱とも言う。火成岩中に微小鉱物として広く産する。

(Verdelite と Estibiotantalite は地質標本課 豊 選秋技官の教示による)